

Gin's Bar 色彩シリーズ Act.3

「マザー・テレサは答えた。「世界の人々を救いたいと思うのなら、まず、目の前の一番身近な人を愛しなさい」



「マザー・テレサに尋ねた。「私も、あなたのように世界の人々を救いたいのですが、なにができるでしょうか」

BLACK 家族の肖像



西澤 由美子 井伏 銀太郎 2010年10月16日[土]~24日[日] クォータースタジオ

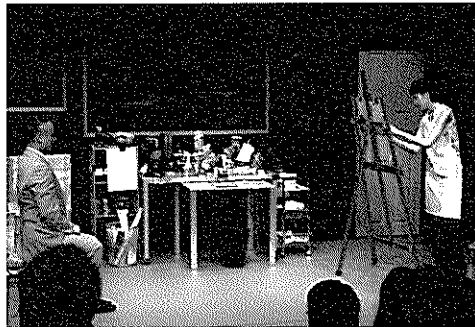
BLACK 家族の肖像

STORY

アメリカ同時多発テロ前夜、一通のメールが世界中に発信されていた。
 「地球の人口を、ぎゅっと縮めて100人してみたら…57人がアジア人、21人がヨーロッパ人、
 14人がアメリカ人で、8人がアフリカ人。52人の女性、48人の男性…」
 舞台は2001年9月初めのニューヨーク。
 仙台の出版社に勤務する男は、ある目的のためリフレッシュ休暇を利用してニューヨークを訪れていた。
 フリーペーパーに掲載されていた「東洋人の中年男性絵画モデル募集」のアルバイトに応募する。
 モデルを探していたのはダウントウンにアトリエを持つ女流画家。「家族の肖像」と題する作品制作のため、
 デッサンをしながらふたりはお互いを理解していく。

劇作：井伏 銀太郎
 演出：西澤 由美子 井伏 銀太郎
 プレイヤー：西澤 由美子 井伏 銀太郎

舞台監督：武藤 修平
 音響：藤川 みちる
 照明：萱場 光
 宣伝美術：五十嵐 冬樹(高山敬デザイン事務所)
 協力：土橋 征史(肖像画) 木村 美砂恵(英語セリフ)
 スタッフ：アクターズ仙台
 制作：高橋 宗義
 後援：(財)仙台市民文化事業団



2004年初演(寺田英寛・井伏銀太郎)

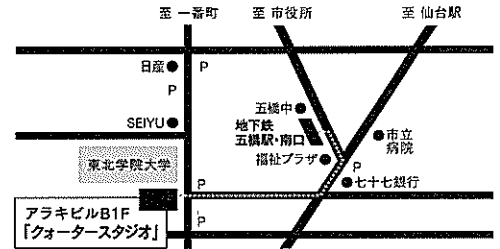
2010年10月16日[土]～24日[日]

《全6回公演》…………… 10月16日[土] ①15時 ②19時
 10月17日[日] ③15時
 10月23日[土] ④15時 ⑤19時
 10月24日[日] ⑥15時
 (1公演25席限定・ワンドリンク付き)

会場：クォータースタジオ
 仙台市青葉区五橋2-9-10 アラキビルB1F
 (東北学院大学東南隣 地下鉄五橋駅南口徒歩3分)

チケット：一般2,000円・学生1,000円
 ※当日券はいずれも300円増しとなります。

※開場は開演の20分前です。
 ※満席の場合は当日券を発行いたしませんのでご了承ください。



西澤 由美子 (フリー・演出家・女優)
 Yumiko Nishizawa

松島町生まれ。劇団LQ150に1986年より参加。「BLUE CITY」から2000年「女もどち・5」まで350以上のステージに出演。2001年よりGin's Barにフリーの演出として参加、8作品を演出。2006年、2009年「MAUVE - 煙草を吸うさかな」出演。2008年、詩人原田勇男さんの選集「抒情の宇宙」を川崎町で朗読、CD化される。2009年、社長の演劇祭で伊坂幸太郎作「死神の精度」演出。

今年の私の誕生日にはやぶさくんが地球に帰ってきた。その時の新聞記事にいわく、「満身創痍で最後の力を振り絞って地球を撮影し、自身は燃え尽きながらもカプセルを届けた」ーほとんど擬人化、ほとんど涙びの美学、ほとんどものあはれである。私もはやぶさくんなんて言っちゃってるし。でもこんな風に考えられる日本人ってステキだと私は思う。「BLACK」に登場する画家の彼女もワールドトレードセンターのツインタワーを、祈りを捧げるふたりの人間に見立てている。この芝居では描かれない5日目、崩れ落ちるツインタワーは彼女の目にどんな風に映ただろう。生まれてから今まで、暴力や戦争が当たり前の日常となっている人が世界中にたくさんいる中で、今日も私は多くの人の力を借りて芝居をすることができる。私に今できることはそのことに感謝しつつ、仙台のちっぽけな劇場から真摯に芝居を発信し続けていくことだろう。



井伏 銀太郎 (劇作家・演出家・俳優・俳優トレーナー・俳優)
 Gintaro Ibushi

仙台市生まれ。1981年より98年には現代美術の作家として国際的に発表を行う。1979年より劇団LQ150の創立メンバーとして仙台・東北各地・東京で350以上のステージに出演。アリスフェスティバル国際演劇祭、下北沢演劇祭、シアターフェスティバル in 水戸等に招聘。バルテノン多摩小劇場フェスティバル優勝。2001年劇団LQ150から独立。井伏銀太郎プロデュースGin's Bar創立。平成13年度「宮城県芸術選奨新人賞」受賞。Gin's Bar色彩シリーズ9作品を執筆。外部招聘を含め40以上の作品を演出。

大韓航空機撃墜事件が起きた1983年9月1日、美術の展覧会のためサンフランシスコに滞在していた。新聞に「Korean airliner shot down」と大きな見出しが出た。様々な国のアーティストと知り合い、この事件について語りあった。「アメリカが報復して第3次世界大戦に突入するのでは」「憎しみの連鎖が始まる」…あるアーティストが言った。「憎しみの連鎖を自分たちひとり一人のところで食い止めよう。憎しみの連鎖を止めるのは、愛の連鎖しかないのだから」2001年9月11日朝、テレビをつけるとワールドトレードセンターが炎上していた。初めはローランド・エメリッヒあたりの新作のハリウッド映画の宣伝かと思ったが、どうやら現実らしい。現実がドラマを超えた日だ。2,602人が亡くなり、その後アフガニスタンからイラクへと戦いは広がり、100万人以上が戦死している。世界はやはりあの日から壊れ始めたのだろうか。



人と人が出会い、対話によって関係性が変化する。それだけで演劇は成立する

2001年の結成以来、同時代演劇の関係性における「対話劇」を上演してきました。ミニシアターにかかる短編映画のような、大人が楽しめるウエルメイドなハートフルストーリーです。その俳優に向けた、既製品ではない仙台発のオーダーメイド作品を作ります。リアルな中にも遊びがあり、遊びの中にもリアリティのある対話劇として最小の二人芝居は、

俳優の息づかいが感じられる小さな劇場で、たくさんの小道具や小ネタにかこまれ、上演時間も小1時間ほど。私たちは「小さな演劇」にこだわっています。色彩シリーズ9作品は仙台のほか、山形、新潟、岩手でも上演されました。

色彩シリーズ Act.10

新作 VERTE - 1秒間に4文字以内で伝えられない思い -

女/字幕翻訳家 男/声優 仙台発・大人のラブストーリー

映画は字幕で観るか? 吹き替えで観るか? ……………

恋人と最初に二人で観た映画を憶えているだろうか。その二人が一緒に住んで、愛し合ったり、傷つけ合ったり、仲直りしたり、憎んだり許したりまた愛し合ったり…時間が流れ、二人が最後に一緒に観る映画があるとしたら、それはどんな映画だろう。20代、30代、40代以上、同じ脚本で3組それぞれの世代の愛の形を表現します。

出演者募集!

俳優になりたい! 夢に一番近い劇場 - アクターズ仙台俳優研修所 ~ 新時代の俳優研修所「アクターズ仙台」では研修生を募集しています ~

仙台の中心部、徹底した現場主義・実践主義の専用劇場で、オリジナル作品を最新の訓練法で学べます。年一回の新人公演があり、体力・気力・実力のあるメンバーは「育成公演」に抜擢します。

- ハード… 仙台市中心部の専用劇場で本番と同じ状態で稽古と公演
- ソフト… 仙台発のオリジナル作品と俳優に向けての書き下ろし作品
- メソッド… 新時代にふさわしい「対話のメソッド」および迷迷による新しい訓練法を導入
- 研修料… 無料(スタジオ代のみ) ●常任講師… 井伏銀太郎 他